

# もりや里山新聞

6/25

【土曜日】

発行

守谷里山ネットワーク

## 一、木育講演会・木育円卓会議

### 卓会議

五月六日に、「もりや子育てネットワークまもり」が主催した木育講演会とそれに続く円卓会議に参加し、たいへん興味深い考え方や活動内容に接することができました。

この催しは、「乳幼児が地産木を使った玩具



(おもちゃ)に接することにより、木の香り↓情緒安定、自発的な遊び↓創造性を育む可能性を広げた」との思いを実現化させることを目的としています。「まもり」では、これを「NukuMori(ぬく森)プロジェクト」と命名し、木を身近に感じる環境を整えることで、

自然へ親しみ、多世代の交流醸成を目指しているとのこと。

前半の講演会では、守谷市長ほか県や市議の挨拶後、NPO法人「日本グッド・トイ委員会」の多田氏より、「ウッドスタートで守谷を変える！」〜東京おもちゃ美術館の木育推進事業〜と題した基調講演がありました。要旨は以下のとおりです。

・ 幼児〜子ども〜子育て世代〜シニアをつなぐ木育「木が好きな人を育てる活動」

・ 行政だけに頼らず、小さな自主的活動から始めて、自治体や企業も巻き込んだ事業に

・ 活動の目指すもの…

森林資源活用で地方創生、環境保全の推進、心豊かな暮らし

後半は、円卓会議と称して、木材研究、行政(県・市)、小児科医、木材生産、建築設計、木工、ボランティア団体、現役ママなど多士済々な方々による意見交換の場となりました。中でも、木材生産者と建築家の協働グループからは、守谷駅付近のフィールドを想定した木育活動の場づくりを通して、いろいろな活動や支援が集まって増殖していく構想がプレゼンテーションされ、具体性のある盛り上がった議論へとつながったようです。

### 目次

1. 木育講演会・木育円卓会議
2. 春の自然観察会
3. 「まもり」木のおもちゃ作り
4. 冬の炭焼き
5. 田んぼの学校で田植え



**ボランティア募集**  
あなたと一緒に楽しみましょう!

## 守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ヶ丘 5-25-1 守谷市民活動支援センター

☎ 0297-46-3370

メール [denen21@hb.tp1.jp](mailto:denen21@hb.tp1.jp)

ホームページ「野に集い野に遊ぶ」

<http://w01.tp1.jp/~a071771011/index.html>

守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい/自然と関わりのある活動してみたい/子供たちの遊び場を作ってみたい/ みんなで楽しく汗をかいてみたい そんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

## 二、春の自然観察会

平成二八年四月十六日(土)、市役所生涯学習課主催の観察会が開催されました。

コースは四季の里公園↓北守谷防災調節地の土手↓やまゆり公園↓再び北守谷防災調節地の土手↓四季の里公園。

参加者は老若男女、子供さん達も含め総勢約30名で、生涯学習課の岩田係長および土田さんの先導のもと、好天気の中九時四〇分ごろスタート。植物については藤代高校の飯田先生、野鳥は菅原さんおよび昆虫類については愛宕中学生の“虫博士”新妻さんからご指導を受けました。

四季の里公園内ではサトザクラが見ごろを迎え、セイヨウタンポポとシロバナタンポポが仲良く美しい花を咲かせていました。

また、池の

セイヨウタンポポとシロバナタンポポ



アオサギ

また、ここからやまゆり公園にかけては、よく見ると色彩もいろいろな可愛いスマイレが種々観察されまし

ハルガヤ



アメリカカスミレサイシン



も確認され、この地帯は恵まれた自然環境であること、野鳥類ではオナガ、ツ



アラカシの新芽



ノジシャとベニシジミ

ほとりにはこの主と言わぬばかりの風情で、アオサギが1羽、近づいても動ずることなく立っていました。

防災調節地へ出るまでの道端では、タチツボスマイレやムラサキケマン、オニタビラコなどが咲き、樹木のイヌシデ、アラカシ、ヒユウガミズキ、アオキなどの若葉が美しい(アラカシの新芽)。

調節地の土手ではヒメオドリコソウと小さな白花のノジシャが咲きほこり、ノジシャはクセのない食感でサラダには最適の野草。さらに、雑草花粉症の一因ともハルガヤが勢いよく穂を伸ばしていました。

た。土手ではアメリカカスミレサイシンやアリアケスマイレ、スマレ、公園内ではニオイタチツボスマイレとアカネスミレを知ることができました。



アリアケスマイレ



ニオイタチツボスマイレ

やまゆり公園内は「守谷山百合の会」による整備が進み、近い将来ヤマユリが咲き誇ることが期待されます。園内ではヤマユリがあちこちで新芽を出し、フデリンドウ、ミツバツチグリ、オオジシバリ、コウゾリナも元気いっぱい、再び土手へ抜けて四季の里公園には12時ごろ帰着。

終わりにあたっての講評では、植物関係では特にスマイレが約6種類も確認され、この地帯は恵まれた自然環境であること、野鳥類ではオナガ、ツ

虫を確認したことが報告されました。最初に紹介したアオサギ、相変わらずの格好で同じ場所にまだ立ちつくしているのにはびっくり。大変有意義な観察会となりました(南記)



アカネスミレ

グミ、コゲラ、カワセミなど約16種類、昆虫類ではキタキチョウ、コマキチョウ、キチヨウ等のほか種々の幼

四季の里公園





### 三、「ママモリ」木のおもちゃ作り

子育てネットの「ママモリ」による木のおもちゃ作りが近所のスーパー内で開催されました。

一月二三日(土)は「ヨークベニマル」みらい平店において、一月三一日(日)、二月七日(日)、二八日(日)は「ヨークベニマル」守谷店で行われました。

木のおもちゃ作りやマイ箸作りは道具を使うため大人の手助けが必要と、里山自然体験等付き合のある「ママモリ」からの支援要請で関係団体へ協力者を募ったところ、各日とも数名の参加協力をいただきましたありがとうございました。



カンナでマイ箸づくり

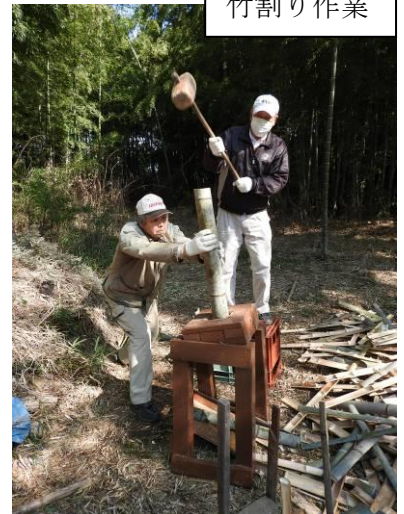


会場は近所のスーパー内のフードコートの一画をかりて設営。主催者の「ママモリ」から趣旨説明があり、親子で楽しく作業が進みます。木のおもちゃ作りは予め加工されたキットがあり、うまく組み立てて動き出すと子供達は真剣になります。マイ箸作りはなかなかカンナを引けない子供もいました。すぐに慣れてきて熱心に取り組み、各自自分の作品を大事そうに持ち帰りました。

### 四、冬の炭焼き

里山の冬期は、恒例の炭焼きです。窯入れに向けて、十一月から準備作業が始まります。まずは竹林の伐採作業、今年も百本近い孟

竹割り作業



宗竹を間伐しました。今回は乱伐を止めて列状に皆伐したところ、倒し方片づけ方が容易になり、全体の作業はかなり改善されました。数か月乾燥させたところで約七十cmの定尺に切りそろえ、竹割りと節をとる作業が大変な手作業となりました。今年竹割り台を製作しましたが、まだ改良の必要があります。

また竹炭のアートを作成するために、丸のままの竹材を数十本確保し、焼き上げる際に破裂して窯が痛まないように穴をあけておきます。丸竹は急激に焼くとひび割れが大きくなるので、今年約半分を現地に積み上げて一年間自然乾燥させ、来年焼くことにしました。

また竹炭のアートを作成するために、丸のままの竹材を数十本確保し、焼き上げる際に破裂して窯が痛まないように穴をあけておきます。丸竹は急激に焼くとひび割れが大きくなるので、今年約半分を現地に積み上げて一年間自然乾燥させ、来年焼くことにしました。



炭窯へ火入れ

現地でこの行程が結構大事で製品の亀裂状態がかなり変動します。博物館は月曜休館なので、本火入れは二九日(火)としました。かなりの焚きつけを定期的に投入しながら温度を監視すると、ようやく夕方になって八〇度近くまで上昇したことから、火口を小さくして調整します。安定してきたタイミングで長い煙突を設置し、竹酢液の回収が始まります。火入れして四日目の一日(金)夕方竹酢液が減少し煙の色も青くなってきたことから、最後の吹きあげをし

た。出来上りを考えると、経験上この行程が結構大事で製品の亀裂状態がかなり変動します。博物館は月曜休館なので、本火入れは二九日(火)としました。かなりの焚きつけを定期的に投入しながら温度を監視すると、ようやく夕方になって八〇度近くまで上昇したことから、火口を小さくして調整します。安定してきたタイミングで長い煙突を設置し、竹酢液の回収が始まります。火入れして四日目の一日(金)夕方竹酢液が減少し煙の色も青くなってきたことから、最後の吹きあげをし





窯の中

て完全閉塞しました。  
 温度が完全に下がるまで放置し、  
 四月二三日(土)午後には窯出しを行  
 いました。  
 何度やっても、開けてみないと  
 解りませんが、今年も比較的良好  
 に質の良い竹炭に仕上がりました。



火入れ後



田んぼの雑草取り

春は田植えの季節です。立沢里  
 山では、四月二三日と五月十四日  
 に準備作業を行いました。草刈の  
 ほか、田んぼの中に茂ってきた草  
 を手作業で除去するために、子供

### 五、田んぼの学校で田植

(立沢里山)

竹炭アート用の缶入れした木の  
 実もきれいに焼きあがりました。  
 竹酢液も六缶回収できました。  
 これから、夏祭りのバザーに向  
 けて竹炭アートなど作品製作が始  
 まります。



達に走り回ってもらおうと、そ  
 れだけでかなりきれいになりました  
 た。機械が入れない田んぼには実  
 に有効です。  
 田植えは当初五月十七日(火)の  
 予定でしたが、雨天延期となり二  
 十日(金)に実施することとなり  
 ました。  
 例年通り、御所が丘、松前台、  
 大井沢の三小学校の五年生二百数  
 十名が合同で田植えを行いました。  
 やはり田植えは女性にむいてい  
 るような気がします。女の子は周  
 りをよく見て遅れている子がいる  
 と気がついて助け合います。

男の子はカエルなどを  
 発見すると、全ての興味  
 がそちらに飛んでしまい、  
 田植えどころではなく大  
 変です。  
 泥だらけ  
 になりなが  
 らも一時間  
 余りで無事  
 終了し、手  
 足を洗って  
 元気に帰っ  
 て行きまし  
 た。



立沢里山の会のスタッフ

#### 【編集後記】

本紙への活動報告、行事の予告など記事をお寄せください。  
 こちらまで メール⇒ [denen21@hb.tp1.jp](mailto:denen21@hb.tp1.jp)